

## Renesas S3A7 用サンプル(e2studio WiFi\_DHCP\_HTTP)の説明

(e2studio Version:7.5.1 / SSP Version 1.7.8)

## 1. Sample の免責について

- **Sample** に関する Tel/Fax でのご質問に関してはお受けできません。ただし、メールでのご質問に関してはお答えするよう努力はしますが、都合によりお答えできない場合もありますので予めご了承ください。
- **Sample** ソフトの不具合が発見された場合の対応義務はありません。また、この関連ソフトの使用方法に関する質問の回答義務もありませんので承知の上ご利用下さい。
- **Sample** ソフトは、無保証で提供されているものであり、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行いません。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わないものとします。

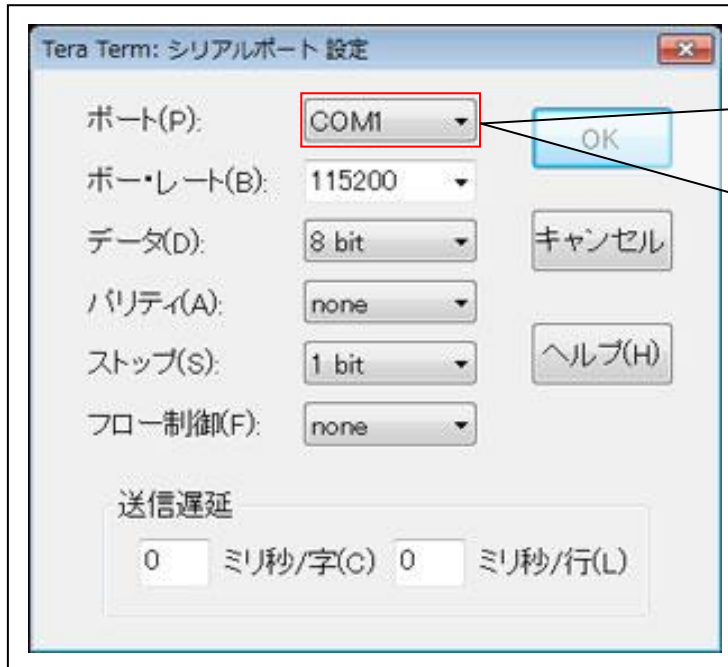
## 2. サンプルのプロジェクト名

ワークスペース名	概要	プロジェクト名
S3A7_e2std_WiFi_NetX_2	PMODA に WiFi モジュール (GT202) を接続して、DHCP と HTTP のサンプル	WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA  ThreadX モードで動作  NetX DHCP Client (g_dhcp_client0)  NetX HTTP Server (g_http_server0)

統合開発環境
Renesas e2studio(Version 7.5.1)
SSP(Version1.7.8)

### 3. Tera Term Pro のインストール

- ①「teraterm-4.80.exe」を検索してダウンロードする。
- ②PCにインストールし実行する
- ③シリアルポートの設定



COM 番号は、  
PC 側でシリアル通信可  
能な番号を指定する。

115200BPS

8bit

none

1bit

none

の仕様にする。

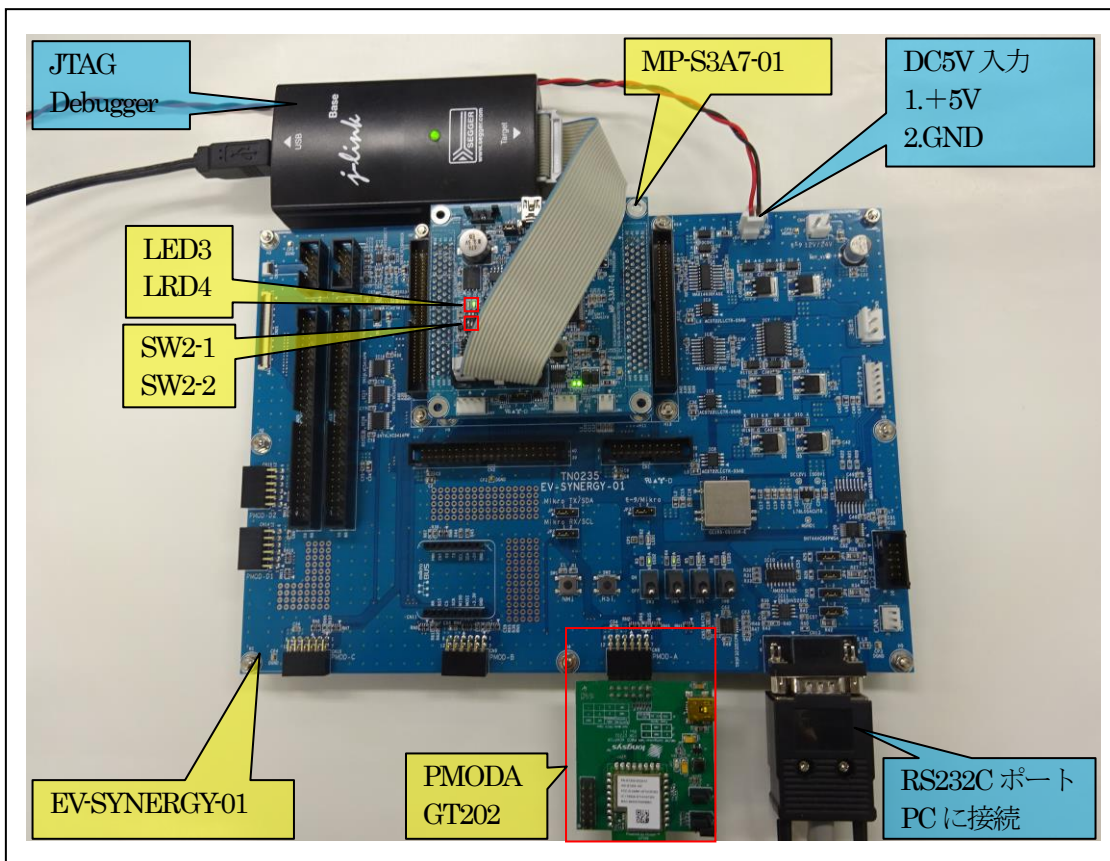
#### ④端末の設定



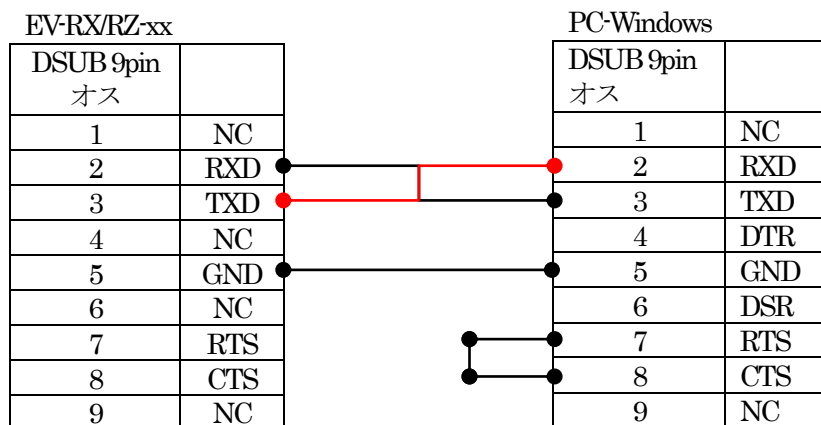
USB シリアルコンバー  
タ使用時に CR コードが  
カットされる設定の場合  
は、**受信 : LF** にして下  
さい。

赤枠の設定にする。

#### 4. 動作構成



- ①PC機と接続する RS232C ケーブルは、市販「クロスケーブル」でも可能です。
- ②USB-シリアル変換ケーブルを使用される場合は、「StarTech.com 社 ICUSB232FIN」推奨
- ③自作する場合は、下記の配線になります。



## 5. 「S3A7\_e2std\_WiFi\_NetX\_2」 サンプルの説明

### 5-1. 「WiFi\_DHCP\_HTTP\_GT202\_PMODA」 フォルダ構成とファイル名

S3A7_e2std_WiFi_NetX_2\WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA		
Debug	WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA.elf	ELF ファイル、JTAG で使用
	WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA.map	MAP ファイル、アドレス情報管理
	WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA.srec	モトローラーHEX ファイル
	その他	自動生成ファイル
Script	S3A7.ld	ロケーション定義ファイル
Src	blink_thread_entry.c	led blink thread サンプルファイル
	dipsw_thread_entry.c	dipsw thread サンプルファイル
	http_server_thread_entry.c	HTTP server Thread サンプルファイル
	http_server.c	const html サンプルファイル
	http_server.h	http_server.c 用ヘッダーファイル
	wifi_dhcp_thred_entry.c	DHCP client Thread サンプルファイル
	filex_stub.h	Filex 未使用時のダミーファイル
	(*1)http_server_thread.c	synergy_gen 作成ファイル
	(*1)http_server_thread.h	http_server_thread.c 用ヘッダーファイル
MP-S3A7-01 (リンク指定)	dipsw.c	MP 基板上 DIP-SW 処理モジュール
	dipsw.h	dipsw.c 用ヘッダーファイル
	led_blink.c	LED 処理モジュール
	led_brink.h	led_brink.c 用ヘッダーファイル
	sci2.c	シリアル通信処理モジュール
	sci2.h	sci2.c 用ヘッダーファイル
	stchar.c	文字系処理モジュール
	stcahr.h	stchar.c 用ヘッダーファイル
	synergy_gen	Generate を行うと作成されるファイル
Synergy		Generate を行うと作成されるファイル
synergy_cfg		
Configuration.xml		プロジェクト Generation ファイル
PIN-EV-SYNERGY-S3A7.pincfg		PIN configuration 用ファイル
WiFi_DHCP_HTTP_GT202_PMODA.jlink		Jlink デバッガー用ファイル
その他		自動生成ファイル

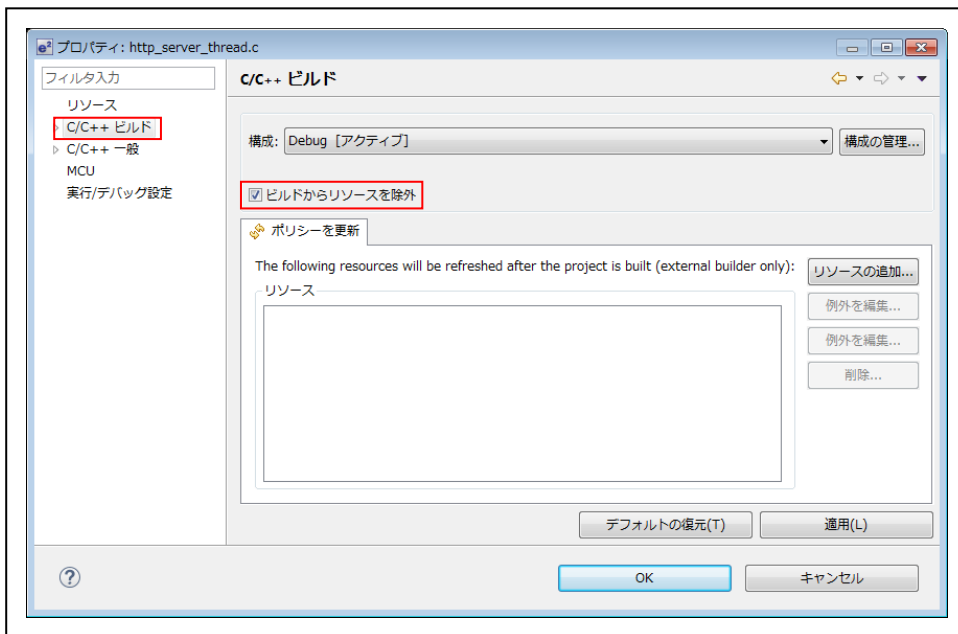
(\*1) 5-2. FileX を使用しない場合の手順 を参照

## 5-2. FileX を使用しない場合の手順

- ① <synergy\_gen>下記 2 ファイルを<src>に Copy する。  
http\_server\_thread.c  
http\_server\_thread.h
- ② <synergy\_gen>下記 2 ファイルを「ビルド除外」にする。  
http\_server\_thread.c  
http\_server\_thread.h

### <除外方法>

- (1) ファイルを選択してプロパティを指定する。
- (2) 「C/C++ビルド」を指定する。
- (3) 「☒ビルドからリソースを除外」にする。



- ③ <src>に Copy した「http\_server\_thread.c」内「void http\_server\_init0(void)」引数を変更する。

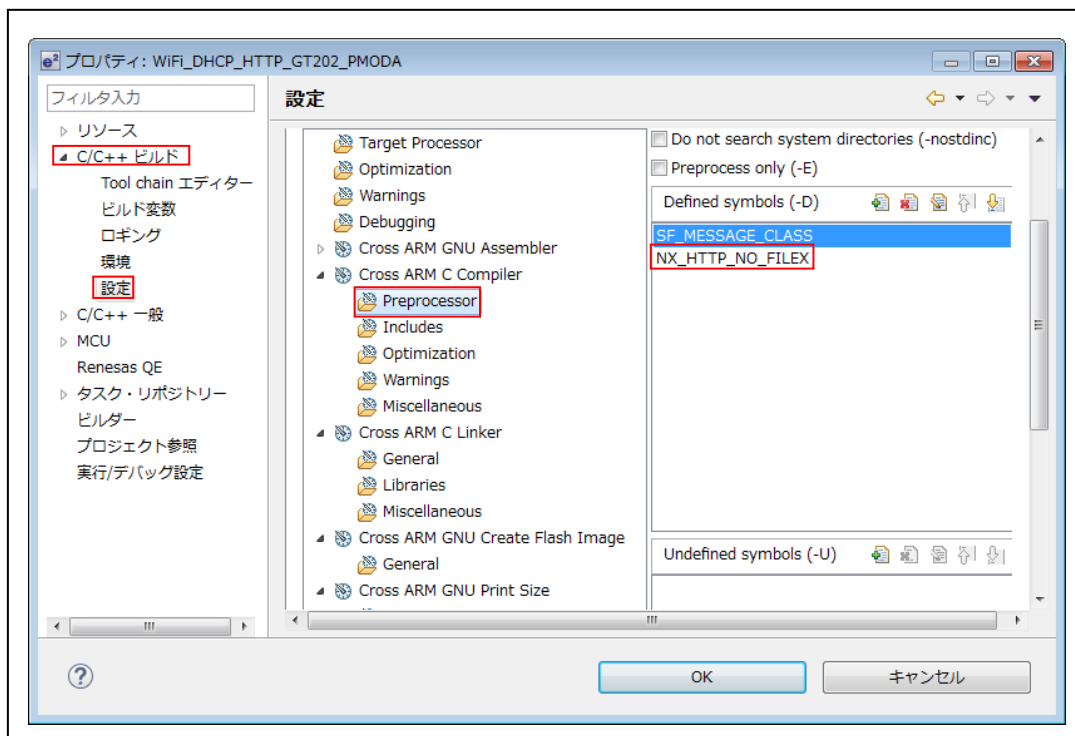
```
g_http_server0_err=nx_http_server_create(&g_http_server0,"g_http_server0 HTTP Server",&g_ip0,
&SYNERGY_NOT_DEFINED,&g_http_server0_stack_memory[0],4096,
↑NX_NULLに変更する。
```

```
g_http_server0_err=nx_http_server_create(&g_http_server0,"g_http_server0 HTTP Server",&g_ip0,
NX_NULL,&g_http_server0_stack_memory[0],4096,
&g_packet_pool0,authentication_check,request_notify);
```

- ④ <src>に Copy した「http\_server\_thread.h」に「#include "filex\_stub.h"」を追記する。

```
#include "filex_stub.h"
#include "nx_http_server.h" //必ず「nx_http_server.h」の上に追記
```

- ⑤ 「Cross ARM C Compiler」 「Preprocessor」 に 「NX\_HTTP\_NO\_FILEX」 を追加する。



以上の作業が必要です。

### 5-3. サンプルの動作説明

#### <DHCP client Thread>

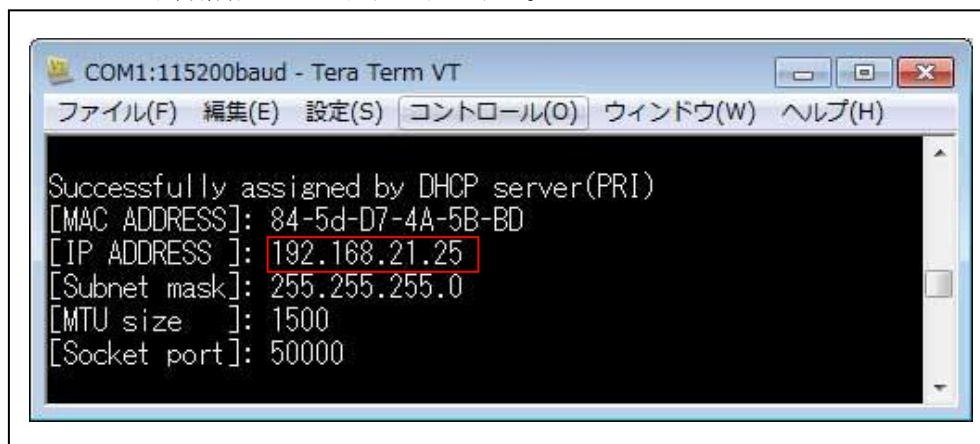
- ① DHCP による IP アドレスの取得を待つ

Term 画面

- < 1 > 「<Wait fragment\_enable>」
- < 2 > 「<Wait Link up status>」
- < 3 > 「<Start WiFi NetX DHCP>」
- < 4 > 「Wait Link」
- < 5 > 「Wait Joint」
- < 6 > 「Wait DHCP」の順次処理して表示する。

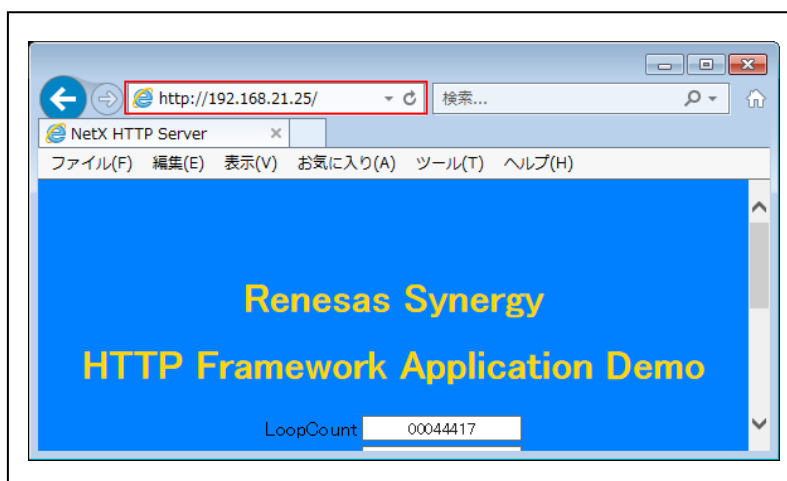
- ・ IP アドレス取得成功により、MP 基板上の LED 4 を led blink thread で 200msec 毎に点滅

- ② IP アドレス取得情報を Term 画面に表示する。



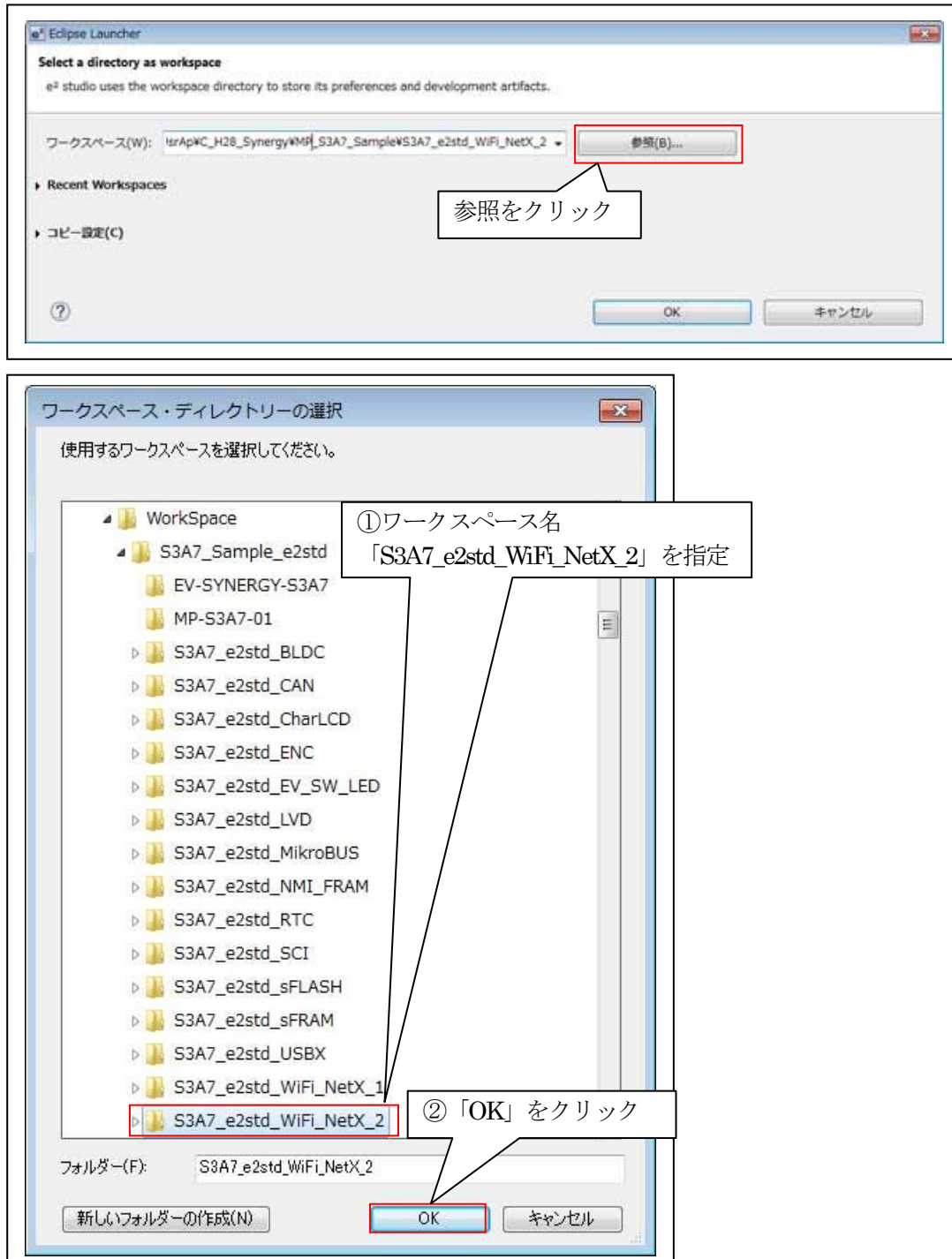
#### <HTTP server Thread>

- ① Windows PC のインターネット ブラウザを使用して HTTP Server にアクセスする。



6. 「S3A7\_e2std\_WiFi\_NetX\_2」をインポートする。

#### 6-1. ワークスペース名の指定



#### 6-2. プロジェクトのインポート

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の2項を参照して下さい。

7. デバッグ操作



### 7-1. デバッグ構成の設定

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-1項を参照して下さい。

### 7-2. デバッグの開始

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-2項を参照して下さい。

#### <WiFi\_DHCP\_HTTP\_GT202\_PMODA 実行画面>

```
COM1:115200baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

<Wait fragment_enable>
<Wait Link up status>
<Start WiFi NetX DHCP>
Wait Link
Wait Joint
Wait DHCP

Successfully assigned by DHCP server(PRI)
[MAC ADDRESS]: 84-5d-D7-4A-5B-BD
[IP ADDRESS ]: 192.168.21.25
[Subnet mask]: 255.255.255.0
[MTU size   ]: 1500
[Socket port]: 50000

<Start NetX HTTP S3A7[Server]>
```

<インターネット ブラウザ実行画面>

http\_server\_thread  
の Loop counter を  
5sec 周期で表示

MP 基板上の  
SW2-1/SW2-2 の  
ON/OFF を 5sec 周  
期で表示

MP 基板上の  
LED3/LED4 の  
ON/OFF/BLINK  
を指示

7-3. デバッグの終了

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-3項を参照して下さい。

## 8. 注意事項

- ・本文書の著作権は、エーワン（株）が保有します。
- ・本文書を無断での転載は一切禁止します。
- ・本文書に記載されている内容についての質問やサポートはお受けすることが出来ません。
- ・本文章に関して、ルネサス エレクトロニクス社への問い合わせは御遠慮願います。
- ・本文書の内容に従い、使用した結果、損害が発生しても、弊社では一切の責任は負わないものとしします。
- ・本文書の内容に関して、万全を期して作成しましたが、ご不審な点、誤りなどの点がありましたら弊社までご連絡くだされば幸いです。
- ・本文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

## 9. 商標

- ・e2studio は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名称です。
- ・Renesas Synergy<sup>TM</sup>および S3A7/S5D9/S7G2 は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 10. 参考文献

- ・「S3A7 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「S5D9 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「S7G2 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・ルネサス エレクトロニクス株式会社提供のサンプル集
- ・「e2studio ユーザーズマニュアル 入門ガイド」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「SSP vx.x.x User's Manual」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「X-Ware Component Documents for Renesas Synergy<sup>TM</sup>」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・その他

〒486-0852  
愛知県春日井市下市場町 6-9-20  
エーワン株式会社  
<http://www.robin-w.com>